

リファレンス

MJ APC / TJ APC / FP APC	5
WiFiアクセスポイントに接続	
MJ APD / TJ APD / FP APD	6
Wi-Fi接続を切断	
MJ APL / TJ APL / FP APL	7
WiFiアクセスポイントの一覧を表示	
MJ APS / TJ APS / FP APS	8
WiFiアクセスポイントへの接続を確認	
MJ SSID	9
WiFiアクセスポイントのSSIDの表示、デフォルトのSSIDを設定	
MJ SOFTAP	10
SoftAPのSSID名とIPを表示、SSIDとパスワードを設定	
MJ PWD	11
デフォルトのSSIDのパスワードを設定	
MJ RGA / TJ RGA	12
WiFiアクセスポイントのSSIDとパスワードを登録	
MJ RGC / TJ RGC	13
RGAで登録したWiFiアクセスポイントに登録番号で接続	
MJ RGL / TJ RGL	14
REGAPで登録したWiFiアクセスポイントの一覧を表示	
MJ RGD / TJ RGD	15
RGAで登録したWiFiアクセスポイントを消去	
MJ LIP	16
ローカルIPを表示	
MJ GET	17
HTTPでGET通信	
MJ GETS	18
HTTPSでGET通信	
MJ GETHOME	19
設定したデフォルトページをGET通信	
MJ GETSHOME	20
設定したデフォルトページをGETS通信	
MJ GETLAST	21
最後に通信したページをGET通信	

MJ GETSLAST	22
最後に通信したページをGETS通信	
MJ PROXY	23
Proxyの設定および表示	
MJ PORT	24
ポート番号の設定および表示	
MJ POST ...	25
HTTPでPOST送信	
MJ POSTS ...	26
HTTPSでPOST送信	
MJ PCT	27
HTTPSでPOST送信でのコンテンツタイプを指定	
MJ GKP	28
kidspod.clubからHTTPでGET通信	
MJ PKP	29
Kidspod.clubにHTTPでPOST送信	
MJ QGKP	30
kidspod.clubからIchigonQuestのプログラムをHTTPでGET通信	
MJ QPKP	31
Kidspod.clubにIchigonQuestのプログラムをHTTPでPOST送信	
MJ QSEND	32
IchigonQuestのHEXプログラムを送信します。	
MJ UART	33
HTTPでの入力操作でUARTで送信	
MJ KBD	34
HTTPでの入力操作でキーボード信号として送信	
MJ IJKBD	35
IchigoJamでHTTPでの入力操作でキーボード信号として送信する場合	
MJ SPW	36
HTTPでGET通信において、文字送信遅延の設定	
MJ MACADDR	37
MACアドレスを表示	
MJ MAC	38
MACアドレスを表示（MixJuiceと同じ表示形式）	
MJ SLEEP	39
スリープ（節電モード）	

MJ PMODE	40
ESP-WROOM-02のピンモード設定	
MJ DWRT	41
ESP-WROOM-02でdigitalWriteを実行	
MJ DREAD	42
ESP-WROOM-02でdigitalReadを実行	
MJ AWRT	43
ESP-WROOM-02でanalogWriteを実行	
MJ AREAD	44
ESP-WROOM-02でanalogReadを実行	
MJ MJVER	45
MicJackのバージョン番号を表示	
MJ SVR	46
サーバーを起動	
MJ UDP START	47
UDPを起動	
MJ UDP STOP	48
UDPを停止	
MJ UDP MSG	49
最後に使ったリモートIP/PortにデータをUDPで送信	
MJ UDP	50
指定したリモートIP/PortにデータをUDPで送信	
MJ SETRTC	51
M5StickCのRTCに時間を設定する	
MJ GETRTC	52
タイムサーバーから時間を取得、M5StickCの場合はRTCから時間を取得	
MJ PSUB	53
ESP32版でUSBシリアルに入出力する	
ESP32版ではSerial2をIchigoJamとのUARTとして使っています。そのため、USBシリアルからの入出力に動作しないため、このコマンドでオン・オフできるようにした。	
TJ INIT / FP INIT / TJ START / FP START	54
Tello操作を開始	
TJ CLOSE	55
Tello操作を終了	
TJ STATE	56
Telloの情報を取得	

TJ RESON	57
Telloのコマンド実行後の結果を表示	
TJ RESOFF	58
Telloのコマンド実行後の結果を非表示	
TJ Qxxx	59
FPに準じたTelloのQueueコマンドを送信	
TJ xxxx / TJ S xxxx	60
Telloのコマンドを送信	

MJ APC / TJ APC / FP APC

0.1.0～ (v1.1.0b1でTJ / FPを追加)

【機能 (接続切断)】

WiFiアクセスポイントに接続

【書式】

?”MJ APC [<ssid>] [<パスワード>]”

?”MJ APC [<APリスト番号>] [<パスワード>]”

【例】

?”MJ APC micnet hoge123”

?”MJ APC 2 foo987”

?”MJ APC”

【解説】

WiFiアクセスポイントのSSIDとパスワードを記述し、そのアクセスポイントに接続します。ssidやパスワードを省略した場合、最後に接続したアクセスポイントに接続します。また、ssidには、APLコマンドで表示されたリストの番号を使うこともできます。

【関連】

MJ APL: アクセスポイントのリストを表示

MJ SSID: SSIDを設定

MJ PWD: パスワードを設定

MJ APD / TJ APD / FP APD

0.1.0～ (v1.1.0b1でTJ / FPを追加)

【機能 (接続切断)】

Wi-Fi接続を切断

【書式】

?”MJ APD”

【例】

?”MJ APD”

【解説】

Wi-Fi接続を切断します。

【関連】

MJ APC: アクセスポイントに接続

MJ APL / TJ APL / FP APL

0.1.0～ (v1.1.0b1でTJ / FPを追加)

【機能 (接続切断)】

WiFiアクセスポイントの一覧を表示

【書式】

?”MJ APL”

【例】

?”MJ APL”

【解説】

WiFiアクセスポイントをスキャンし一覧を表示します。0～9までのアクセスポイント名は保存されますので、MJ APCで、SSIDを入力する際に、この数値で指定できます。長いSSIDやスペースが入ってる場合などの際に便利です。

【関連】

MJ APC: WiFiアクセスポイントに接続

MJ SSID: デフォルトのアクセスポイント名を設定

MJ APS / TJ APS / FP APS

0.1.0～ （v1.1.0b1でTJ / FPを追加）

【機能 (接続切断)】

WiFiアクセスポイントへの接続を確認

【書式】

?”MJ APS”

【例】

?”MJ APS”

【解説】

WiFiアクセスポイントへの接続を確認し、以下の値を返します。

接続状態…1

切断状態…0

【関連】

MJ APC: WiFiアクセスポイントに接続

MJ APD: Wi-Fi接続を切断

MJ SSID

0.2.0～

【機能 (接続切断)】

WiFiアクセスポイントのSSIDの表示、デフォルトのSSIDを設定

【書式】

?”MJ SSID [<ssid>]”

【例】

?”MJ SSID micnet”

?”MJ SSID”

【解説】

アクセスポイントのSSIDを設定します。

ssidを省略した場合、設定されているSSIDが表示されます。

【関連】

MJ APC: アクセスポイントに接続

MJ PWD: パスワードを設定

MJ SOFTAP

0.6.0～

【機能 (接続切断)】

SoftAPのSSID名とIPを表示、SSIDとパスワードを設定

【書式】

?”MJ SOFTAP [<ssid> <pass>] ”

【例】

?”MJ SSID micutil abcd1234”

?”MJ SSID”

【解説】

SoftAPのSSIDとパスワードを設定します。

ssidまたはpassを省略した場合、設定されているSSIDとIPが表示されます。

passは8文字以上の必要があります。

【関連】

MJ SSID: WiFiルータのSSID名を表示

MJ PWD

0.2.0～

【機能 (接続切断)】

デフォルトのSSIDのパスワードを設定

【書式】

?”MJ PWD [<パスワード>]”

【例】

?”MJ PWD hoge112”

?”MJ PWD”

【解説】

アクセスポイントのパスワードを設定します。

パスワードを省略した場合、設定されているパスワードが表示されます。

【関連】

MJ APC: アクセスポイントに接続

MJ SSID: SSIDを設定

MJ RGA / TJ RGA

1.1.0b1～

【機能 (接続切断)】

WiFiアクセスポイントのSSIDとパスワードを登録

【書式】

?”MJ RGA <n> <ssid> <pass>”

【例】

?”MJ RGA 2 micnet hoge”

【解説】

8個のアクセスポイントのSSIDとパスワードを登録できます。

<n>は0から7の数値に入れます。

【関連】

MJ RGC: RGAで登録したWiFiアクセスポイントに登録番号で接続

MJ RGL: RGAで登録したWiFiアクセスポイントの一覧を表示

MJ RGD: RGAで登録したWiFiアクセスポイントを削除

MJ APC: アクセスポイントに接続

MJ PWD: パスワードを設定

MJ RGC / TJ RGC

1.1.0b1～

【機能 (接続切断)】

RGAで登録したWiFiアクセスポイントに登録番号で接続

【書式】

?”MJ RGC <n>”

【例】

?”MJ RGC 3”

【解説】

RGAで登録したアクセス先に登録番号でアクセスします。

【関連】

MJ RGA: WiFiアクセスポイントのSSIDとパスワードを登録

MJ RGL: RGAで登録したWiFiアクセスポイントの一覧を表示

MJ RGD: RGAで登録したWiFiアクセスポイントを削除

MJ SSID: SSIDを設定

MJ PWD: パスワードを設定

MJ RGL / TJ RGL

1.1.0b1～

【機能 (接続切断)】

REGAPで登録したWiFiアクセスポイントの一覧を表示

【書式】

?”MJ RGL”

【例】

?”MJ RGL”

【解説】

RGAで登録したWiFiアクセスポイントを表示します。

【関連】

MJ RGA: WiFiアクセスポイントのSSIDとパスワードを登録

MJ RGC: RGAで登録したWiFiアクセスポイントに登録番号で接続

MJ RGD: RGAで登録したWiFiアクセスポイントを削除

MJ APC: WiFiアクセスポイントに接続

MJ SSID: デフォルトのアクセスポイント名を設定

MJ RGD / TJ RGD

1.1.0b1～

【機能 (接続切断)】

RGAで登録したWiFiアクセスポイントを消去

【書式】

?”MJ RGD <n>”

【例】

?”MJ RGD 4”

【解説】

RGAで登録したWiFiアクセスポイントのひとつを消去します。

【関連】

MJ RGA: WiFiアクセスポイントのSSIDとパスワードを登録

MJ RGC: RGAで登録したWiFiアクセスポイントに登録番号で接続

MJ RGL: RGAで登録したWiFiアクセスポイントの一覧を表示

MJ RGD: RGAで登録したWiFiアクセスポイントを削除

MJ APC: WiFiアクセスポイントに接続

MJ SSID: デフォルトのアクセスポイント名を設定

MJ LIP

0.2.0～

【機能 (接続切断)】

ローカルIPを表示

【書式】

?”MJ LIP”

【例】

?”MJ LIP”

【解説】

接続しているローカルIPを返します。

【関連】

MJ MACADDR: MACアドレスを返します

MJ GET

0.1.0～

[機能 (通信)]

HTTPでGET通信

[書式]

?”MJ GET [<url>]”

[例]

?”MJ GET www.foo.com/01.txt”

[解説]

HTTP GETで通信します。

テキストファイルを受信できます。

[関連]

MJ GETS: HTTPS GET通信

MJ GETS

0.5.0～

[機能 (通信)]

HTTPSでGET通信

[書式]

?”MJ GETS [<url>]”

[例]

?”MJ GETS www.foo.com/01.txt”

[解説]

セキュアなHTTPS GET通信（TLS）を行います。
テキストファイルを受信できます。

[関連]

MJ GET: HTTP GET通信

MJ GETHOME

0.3.0～

[機能 (通信)]

設定したデフォルトページをGET通信

[書式]

?”MJ GETHOME [<url>]”

[例]

?”MJ GETHOME”

?”MJ GETHOME hoge.com/foo.txt”

[解説]

設定してあるページをMJ GETします。
初期値はmj.micutil.comになってます。

引数にURLを書くことでGETHOMEのURLを書き換えることができます。

[関連]

MJ GET: HTTP GET

MJ GETLAST: 最後にGETしたアドレスを送信

MJ GETSHOME

1.0.1b1～

[機能 (通信)]

設定したデフォルトページをGETS通信

[書式]

?”MJ GETSHOME [<url>]”

[例]

?”MJ GETSHOME”

?”MJ GETSHOME hoge.com/foo.txt”

[解説]

設定してあるページをMJ GETします。

初期値はmj.micutil.comになってます。

引数にURLを書くことでGETSHOMEのURLを書き換えることができます。

[関連]

MJ GETS: HTTP GETS

MJ GETSLAST: 最後にGETSしたアドレスを送信

MJ GETLAST

0.3.0～

[機能 (通信)]

最後に通信したページをGET通信

[書式]

?”MJ GETLAST”

[例]

?”MJ GETLAST”

[解説]

最後にアクセスしたページをMJ GETします。

[関連]

MJ GET: HTTP GET

MJ GETHOME: 設定してあるアドレスをGET

MJ GETSLAST

1.0.1b1～

[機能 (通信)]

最後に通信したページをGETS通信

[書式]

?”MJ GETSLAST”

[例]

?”MJ GETSLAST”

[解説]

最後にアクセスしたページをMJ GETします。

[関連]

MJ GETs: HTTP GETS

MJ GETSHOME: 設定してあるアドレスをGET

MJ PROXY

0.2.0～

[機能 (通信)]

Proxyの設定および表示

[書式]

?”MJ PROXY [<プロキシ>]: [<ポート番号>]”

[例]

?”MJ PROXY proxy.hoge.com”

?”MJ PROXY proxy.hoge.com:8080”

?”MJ PROXY”

[解説]

GET/POSTのProxyを設定します。

「:」 でつないでポートの設定も同時にできます。

引数を書かない場合は、設定されてるプロキシを消去。

[備考]

実際に機能するかは、**未テスト**

[関連]

MJ PORT: Port番号の設定および表示

MJ PORT

0.2.0～

[機能 (通信)]

ポート番号の設定および表示

[書式]

?”MJ PORT [<ポート番号>]”

[例]

?”MJ PORT 8080”

?”MJ PORT”

[解説]

GET/POSTのポート番号を設定します。

引数を書かない場合は、設定されてるポート番号を返します。

[備考]

実際に機能するかは、**未テスト**

[関連]

MJ PORT: Port番号の設定および表示

MJ POST …

0.1.0～

[機能 (通信)]

HTTPでPOST送信

[書式]

?”MJ POST START [<url>”	POSTアドレス
?”MJ POST END”	POST送信
?”MJ POST CANCEL”	中止
?”MJ POST STOP”	中止
?”MJ POST ESC”	中止

[例]

```
?”MJ POST START www.foo.com/01.txt”  
LIST  
…  
…  
?”MJ POST END”
```

[解説]

POST送信を行います。

- 1、MJ POST STARTで送信先URLを設定
- 2、POSTする内容をプリント表示
- 3、MJ POST ENDでポスト
します。

中断したい場合は、CANCELなどの中止コマンドを使ってPOSTを終了させてください。

[関連]

MJ POSTS: HTTPS POST送信

MJ POSTS …

0.5.0～（未動作確認）

[機能 (通信)]

HTTPSでPOST送信

[書式]

?”MJ POSTS START [<url>]”	POSTアドレス
?”MJ POSTS END”	POST送信
?”MJ POST CANCEL”	中止
?”MJ POST STOP”	中止
?”MJ POST ESC”	中止

[例]

```
?”MJ POSTS START www.foo.com/01.txt”  
LIST  
…  
…  
?”MJ POSTS END”
```

[解説]

セキュアなPOST送信を行います。

- 1、MJ POSTS STARTで送信先URLを設定
- 2、POSTする内容をプリント表示
- 3、MJ POSTS ENDでポスト
します。

中断したい場合は、CANCELなどの中止コマンドを使ってPOSTを終了させてください。

[関連]

MJ POST: HTTP POSTを送信

MJ PCT

0.8.0～

[機能 (通信)]

HTTPSでPOST送信でのコンテンツタイプを指定

[書式]

?”MJ PCT <コンテンツタイプ>

?”MJ PCT ”

[例]

?”MJ PCT application/json

?”MJ PCT ”

[解説]

TEXT文以外のコンテンツでもPOSTできるようになる。

[関連]

応用例として、以下のサイトを参考にしてください。

<http://blogs.yahoo.co.jp/bokunimowakaru/55624341.html>

<http://blogs.yahoo.co.jp/bokunimowakaru/55603409.html>

MJ GKP

0.9.0～

[機能 (通信)]

kidspod.clubからHTTPでGET通信

[書式]

?”MJ GKP [<ID>]”

[例]

?”MJ GKP 192”

[解説]

kidspod.club (<http://kidspod.club>) にアップロードされているプログラムをダウンロードします。 GETコマンドを使ってID=192のプログラムをkidspod.clubからダウンロードする場合、

?”MJ GET kidspod.club/mj/192

となる処理を、このコマンドで”kidspod.club/mj/“を省略できます。

kidspod.clubにMixJuice/MicJackを使ってプログラムをアップロードダウンロードする場合の使い方は、こちらのページをご覧ください (<http://kidspod.club/help/mixjuice.html>) 。

[関連]

MJ GETS: HTTPS GET通信

MJ PKP: Kidspod.clubにHTTPでPOST送信

MJ PKP

0.9.0～

[機能 (通信)]

Kidspod.clubにHTTPでPOST送信

[書式]

?”MJ PKP [<ID>]”

[例]

?”MJ PKP 192:1580C0”

[解説]

kidspod.club (<http://kidspod.club>) にプログラムをPOST送信を行う際の、POST STARTとLISTのコマンドを行います。本来、kidspod.clubにID=192:1580C0にPOST コマンドを使う場合、

```
?”MJ POST START kidspod.club/mj/192:1580C0”  
LIST  
?”MJ POST END”
```

を実行しますが、STARTとLISTの処理をこのコマンドで行います。

kidspod.clubにMixJuice/MicJackを使ってプログラムをアップロードダウンロードする場合の使い方は、こちらのページをご覧ください (<http://kidspod.club/help/mixjuice.html>) 。

[関連]

MJ POSTS: HTTPS POST送信

MJ GKP: kidspod.clubからHTTPでGET通信

MJ QGKP

1.0.0～

[機能 (通信)]

kidspod.clubからIchigonQuestのプログラムをHTTPでGET通信

[書式]

?”MJ QGKP [<ID>]”

[例]

?”MJ QGKP 192”

[解説]

IchigonQuestから使うため、普通の使い方とは異なります。

詳しい使い方は、マニュアルの「KidspodにIchigonQuestのプログラムをPOST/GETする場合」をお読みください。

[関連]

MJ QPKP: Kidspod.clubにIchigonQuestのプログラムをHTTPでPOST送信

MJ GKP: kidspod.clubからHTTPでGET通信

MJ PKP: Kidspod.clubにHTTPでPOST送信

MJ QPKP

1.0.0～

[機能 (通信)]

Kidspod.clubにIchigonQuestのプログラムをHTTPでPOST送信

[書式]

?”MJ QPKP [<ID>]”

[例]

?”MJ QPKP 192:1580C0”

[解説]

IchigonQuestから使うため、普通の使い方とは異なります。

詳しい使い方は、マニュアルの「KidspodにIchigonQuestのプログラムをPOST/GETする場合」をお読みください。

[関連]

MJ QGKP: kidspod.clubからIchigonQuestのプログラムをHTTPでGET通信

MJ GKP: kidspod.clubからHTTPでGET通信

MJ PKP: Kidspod.clubにHTTPでPOST送信

MJ QSEND

1.0.0b5～

[機能 (通信)]

IchigonQuestのHEXプログラムを送信します。

[書式]

?”MJ QSEND HEX文字列”

[例]

?”MJ QSEND 1200000000…”

[解説]

HEX文字列になっているIchigonQuestのプログラムをIchigonQuestのバイナリーファイルに変換してIchigonQuestに送信できます。

IchigonQuestの方でうけとるの状態にしたのちに、このコマンドを実行して下さい。

[関連]

MJ QGKP: kidspod.clubからIchigonQuestのプログラムをHTTPでGET通信

MJ UART

1.0.0～

[機能 (通信)]

HTTPでの入力操作でUARTで送信

[書式]

?"MJ UART"

[例]

?"MJ UART"

[解説]

HTTPでの入力操作で従来のUARTで文字等のデータを送信します。

[関連]

MJ KBD: HTTP通信

MJ KBD

1.0.0～

[機能 (通信)]

HTTPでの入力操作でキーボード信号として送信

[書式]

?”MJ UART”

[例]

?”MJ UART”

[解説]

HTTPでの入力操作で文字等のデータをPS/2のキーボードの信号として送信します。

[関連]

MJ UART: HTTP通信

MJ IJKBD

1.0.1b1～

【機能 (通信)】

IchigoJamでHTTPでの入力操作でキーボード信号として送信する場合

【書式】

?”MJ UART”

【例】

?”MJ UART”

【解説】

IchigoJamに対してHTTPでの入力操作で文字等のデータをPS/2のキーボードの信号として送信する場合にキーボードを認識させるコマンドです。

【関連】

MJ UART: HTTP通信

MJ KBD: HTTP通信

MJ KBDCMD: HTTP通信

MJ SPW

0.5.0～

[機能 (通信)]

HTTPでGET通信において、文字送信遅延の設定

[書式]

?”MJ SPW [<文字>] [<改行>]”

[例]

?”MJ SPW”

?”MJ SPW 1”

?”MJ SPW 30 50”

[解説]

HTTP GETで通信において、文字の転送速度（Delay）を指定します。

デフォルト値は、文字=20msec、改行=30msecになっています。

?”MJ SPW”とした時、デフォルト値に設定します。

?”MJ SPW 1”とした時、文字= 1 msec、改行= 1 msecとなります。

ボクニモワカルMixJuiceの8>4>6, 8>4>7での画像読み込みの関係上、?”MJ SPW 1”の場合、?”MJ SPW 0 1”でした状態と同じ速度で動きます。

[関連]

MJ GETS: HTTPS GET通信

MJ MACADDR

0.3.0～

[機能 (ネット)]

MACアドレスを表示

[書式]

?”MJ MACADDR”

[例]

?”MJ MACADDR”

[解説]

MACアドレスを返します。

[関連]

MJ LIP: ローカルIPを返します

MJ MAC

0.8.1～

【機能 (ネット)】

MACアドレスを表示 (MixJuiceと同じ表示形式)

【書式】

?”MJ MACA”

【例】

?”MJ MAC”

【解説】

MACアドレスを返します。以下のようにMACアドレスの前に「MAC Address :」が付いた形で表示されます。

例：

‘MAC Address: 04:3F:53:A1…

【関連】

MJ LIP: ローカルIPを返します

MJ SLEEP

0.1.0～

[機能 (その他)]

スリープ（節電モード）

[書式]

?”MJ SLEEP <sec>”

[例]

?”MJ SLEEP 4”

[解説]

secで指定した時間スリープ（節電モード） します。

secには 0-4000(秒) を指定できます。

sec=0の場合、無限にスリープします。

CN4-2(RST)をHIGHにすることで復帰します。

sec>>0の場合、CN4-2(RST)とCN4-6(IO16)を接続してください。

sec後に復帰します。

[関連]

MJ PMODE

0.4.0～

[機能 (ESP-WROOM-02制御)]

ESP-WROOM-02のピンモード設定

[書式]

?”MJ PMODE <ピン番号> <モード>”

?”MJ PINMODE <ピン番号> <モード>”

[例]

?”MJ PMODE 4 1”

[解説]

ESP-WROOM-02のピンモードを設定します。

モード

INPUT=0

OUTPUT=1

INPUT_PULLUP=2

[関連]

MJ DWRT: ESP-WROOM-02でdigitalWriteを実行

MJ DREAD: ESP-WROOM-02でdigitalReadを実行

MJ AWRT: ESP-WROOM-02でanalogWriteを実行

MJ AREAD: ESP-WROOM-02でanalogReadを実行

MJ DWRT

0.4.0～

[機能 (ESP-WROOM-02制御)]

ESP-WROOM-02でdigitalWriteを実行

[書式]

?”MJ DWRT <ピン番号> <状態>”

?”MJ DIGITALWRITE <ピン番号> <状態>”

[例]

?”MJ DWRT 12 1”

[解説]

ESP-WROOM-02でdigitalWriteを実行します。

状態

LOW=0

HIGH=1

[関連]

MJ PMODE: ESP-WROOM-02のピンモード設定

MJ DREAD: ESP-WROOM-02でdigitalReadを実行

MJ AWRT: ESP-WROOM-02でanalogWriteを実行

MJ AREAD: ESP-WROOM-02でanalogReadを実行

MJ DREAD

0.4.0～

[機能 (ESP-WROOM-02制御)]

ESP-WROOM-02でdigitalReadを実行

[書式]

?”MJ DREAD <ピン番号>”

?”MJ DIGITALREAD <ピン番号>”

[例]

?”MJ DREAD 12”

[解説]

ESP-WROOM-02でdigitalReadを実行します。

ピン番号の状態を返します。

戻り値

LOW=0

HIGH=1

[関連]

MJ PMODE: ESP-WROOM-02のピンモード設定

MJ DWRT: ESP-WROOM-02でdigitalWriteを実行

MJ AWRT: ESP-WROOM-02でanalogWriteを実行

MJ AREAD: ESP-WROOM-02でanalogReadを実行

MJ AWRT

0.4.0～

[機能 (ESP-WROOM-02制御)]

ESP-WROOM-02でanalogWriteを実行

[書式]

?”MJ AWRT <ピン番号> <状態>”

?”MJ ANALOGWRITE <ピン番号> <状態>”

[例]

?”MJ AWRT 12 123”

[解説]

ESP-WROOM-02でanalogWriteを実行します。

状態

0-3.3Vを0-255段階で設定

[関連]

MJ PMODE: ESP-WROOM-02のピンモード設定

MJ DWRT: ESP-WROOM-02でdigitalWriteを実行

MJ DREAD: ESP-WROOM-02でdigitalReadを実行

MJ AREAD: ESP-WROOM-02でanalogReadを実行

MJ AREAD

0.4.0～

[機能 (ESP-WROOM-02制御)]

ESP-WROOM-02でanalogReadを実行

[書式]

?”MJ AREAD”

?”MJ ANALOGREAD”

[例]

?”MJ AREAD”

[解説]

ESP-WROOM-02でanalogReadを実行します。

ピンはTOUT/ASC/A0

電圧は0-1V（注意）

[関連]

MJ PMODE: ESP-WROOM-02のピンモード設定

MJ DWRT: ESP-WROOM-02でdigitalWriteを実行

MJ DREAD: ESP-WROOM-02でdigitalReadを実行

MJ AWRT: ESP-WROOM-02でanalogWriteを実行

MJ MJVER

0.8.0～

[機能 (ESP-WROOM-02制御)]

MicJackのバージョン番号を表示

[書式]

?”MJ MJVER”

[例]

?”MJ MJVER”

[解説]

MicJackのバージョン番号を表示

[関連]

?”MJ VER”やエラーの際、表示されるバージョン番号は対応しているMixJuiceと同じにバージョン番号が表示されますが、?”MJ MJVER”でMicJackのバージョン番号を表示することができる。

MJ SVR

0.4.0～ (0.6.0でコメントアウト)

[機能 (サーバー)]

サーバーを起動

[書式]

?”MJ SVR”

?”MJ SERVER”

[例]

?”MJ SVR”

[解説]

サーバーを起動します。サーバーに関して、現在まだ仕様が決まってません。
アドバイスがあれば教えてください。

例：ブラウザからMicJackをコントロール

http://192.168.0.4/?LED1:WAIT60:LEDO

http://192.168.0.4/??”MJ DWRT 12 1”

http://192.168.0.4/??”MJ GET mj.micutil.com/“

[関連]

MJ UDP START

1.1.0b1～

[機能 (サーバー)]

UDPを起動

[書式]

?”MJ UDP START [<localport>]”

?”MJ UDP START”

[例]

?”MJ UDP START”

?”MJ UDP START 8889”

[解説]

UDPを起動します。ポート番号を入れない場合20001になります

[関連]

MJ UDP START: UDPを起動

MJ UDP STOP: UDPを停止

MJ UDP MSG: 最後に使ったIP/PortにUDPで送信

MJ UDP: 指定したリモートIP/PortにUDPで送信

MJ UDP STOP

1.1.0b1～

[機能 (サーバー)]

UDPを停止

[書式]

?”MJ UDP STOP”

[例]

?”MJ UDP STOP”

[解説]

UDPを停止します

[関連]

MJ UDP START: UDPを起動

MJ UDP STOP: UDPを停止

MJ UDP MSG: 最後に使ったIP/PortにUDPで送信

MJ UDP: 指定したリモートIP/PortにUDPで送信

MJ UDP MSG

1.1.0b1～

[機能 (サーバー)]

最後に使ったリモートIP/PortにデータをUDPで送信

[書式]

?”MJ UDP MSG <hoge>”

[例]

?”MJ UDP MSG hoge”

[解説]

最後に使ったリモートIP/PortにデータをUDPで送信

[関連]

MJ UDP START: UDPを起動

MJ UDP STOP: UDPを停止

MJ UDP MSG: 最後に使ったIP/PortにUDPで送信

MJ UDP: 指定したリモートIP/PortにUDPで送信

MJ UDP

1.1.0b1～

[機能 (サーバー)]

指定したリモートIP/PortにデータをUDPで送信

[書式]

?”MJ UDP [<RemoteIP>] [<RemotePort>] <msg>”

[例]

?”MJ UDP 192.168.10.1 8889 hoge”

?”MJ UDP hoge”

[解説]

最後に使ったリモートIP/PortにデータをUDPで送信します。なお、リモートIP/Portを指定しないでメッセージだけを入力することも可能です。

[関連]

MJ UDP START: UDPを起動

MJ UDP STOP: UDPを停止

MJ UDP MSG: 最後に使ったIP/PortにUDPで送信

MJ UDP: 指定したリモートIP/PortにUDPで送信

MJ SETRTC

1.2.1b1～

[機能 (その他)]

M5StickCのRTCに時間を設定する

[書式]

?”MJ SETRTC [<time server>]”

[例]

?”MJ SETRTC

?”MJ SETRTC ntp.jst.mfeed.ad.jp”

[解説]

タイムサーバーから時間を取得して、M5StickCのRTCに時間を設定します。引数はタイムサーバのアドレスです。引数を付けなければ、ntp.jst.mfeed.ad.jpが利用されます。なお、ステーションモードで接続済みである必要があります。

[関連]

MJ GETRTC: タイムサーバーから時間を取得、M5StickCの場合はRTCから時間を取得

MJ GETRTC

1.2.1b1～

[機能 (その他)]

タイムサーバーから時間を取得、M5StickCの場合はRTCから時間を取得

[書式]

?”MJ GETRTC [<n>]”

[例]

?”MJ GETRTC

?”MJ GETRTC 3”

[解説]

日時情報をタイムサーバーから時間を取得して返します。M5StickCの場合は、RTCから日時を取得します。タイムサーバーはntp.jst.mfeed.ad.jpが利用されます。なお、ステーションモードで接続済みである必要があります。

引数はなし、1から9までの数値になります。

- 1: 年 例：'2020
- 2: 月 例：'07
- 3: 日 例：'16
- 4: 時 例：'11
- 5: 分 例：'02
- 6: 秒 例：'43
- 7: 週 例：'3 日曜～土曜=0～6
- 8: 日付 例：'2020/04/29
- 9: 時間 例：'05:48:16
- 0: 日時 例："2020/04/29 05:48:16

[関連]

MJ SETRTC: タイムサーバーから時間を取得しM5StickCのRTCに設定

MJ PSUB

1.2.2b1～ (1.2.2b2 非対応)

[機能 (その他)]

ESP32版でUSBシリアルに入出力する

[書式]

?”MJ PSUB [<n>]”

[例]

?”MJ PSUB 1”

?”MJ PSUB 0”

[解説]

ESP32版ではSerial2をIchigoJamとのUARTとして使っています。そのため、USBシリアルからの入出力に動作しないため、このコマンドでオン・オフできるようにした。

[関連]

なし

TJ INIT / FP INIT / TJ START / FP START

1.1.0b1～

【機能 (Telloコントロール)】

Tello操作を開始

【書式】

?”TJ INIT”

?”TJ START”

【例】

?”TJ INIT”

?”TJ START”

【解説】

Telloのコマンド送信用のリモートIP・ポートに接続し、さらに実行コマンドのcommandします。

具体的には、IP: 192.168.10.1 / 8889

【関連】

TJ START: Tello操作を開始

TJ CLOSE: Tello操作を終了

TJ STATE: Telloの情報を取得

TJ RESON: リターンメッセ時を表示

TJ RESOFF: リターンメッセ時を非表示

TJ Q…: Qコマンドを実行

TJ “message”: コマンドを実行

TJ S “message”: コマンドを実行後、リターンメッセージを表示

TJ CLOSE

1.1.0b1～

[機能 (Telloコントロール)]

Tello操作を終了

[書式]

?”TJ CLOSE”

[例]

?”TJ CLOSE”

[解説]

Telloコマンド用UDPを停止Tello操作を終了

[関連]

TJ START: Tello操作を開始

TJ SLOSE: Tello操作を終了

TJ STATE: Telloの情報を取得

TJ RESON: リターンメッセ時を表示

TJ RESOFF: リターンメッセ時を非表示

TJ Q…: Qコマンドを実行

TJ “message”: コマンドを実行

TJ S “message”: コマンドを実行後、リターンメッセージを表示

TJ STATE

1.1.0b1～

[機能 (Telloコントロール)]

Telloの情報を取得

[書式]

?”TJ STATE”

[例]

?”TJ STATE”

[解説]

Tello ステート用UDPを開始し、データを取得
現在 1 回呼び出したのち、自動停止します。

[関連]

TJ START: Tello操作を開始

TJ SLOSE: Tello操作を終了

TJ STATE: Telloの情報を取得

TJ RESON: リターンメッセ時を表示

TJ RESOFF: リターンメッセ時を非表示

TJ Q…: Qコマンドを実行

TJ “message”: コマンドを実行

TJ S “message”: コマンドを実行後、リターンメッセージを表示

TJ RESON

1.1.0b1～

[機能 (Telloコントロール)]

Telloのコマンド実行後の結果を表示

[書式]

?”TJ RESON”

[例]

?”TJ RESON”

[解説]

TJ S “XXX” コマンドで、Sをつけないでも、Telloのコマンド実行後の結果を強制的に表示します。なおこの設定は保存されます。

[関連]

TJ START: Tello操作を開始

TJ SLOSE: Tello操作を終了

TJ STATE: Telloの情報を取得

TJ RESON: リターンメッセ時を表示

TJ RESOFF: リターンメッセ時を非表示

TJ Q…: Qコマンドを実行

TJ “message”: コマンドを実行

TJ S “message”: コマンドを実行後、リターンメッセージを表示

TJ RESOFF

1.1.0b1～

【機能 (Telloコントロール)】

Telloのコマンド実行後の結果を非表示

【書式】

?”TJ RESOFF”

【例】

?”TJ RESOFF”

【解説】

TJ S “XXX” コマンドで、Sを付けなければ、Telloのコマンド実行後の結果を表示しないようにします。なおこの設定は保存されます。

【関連】

TJ START: Tello操作を開始

TJ SLOSE: Tello操作を終了

TJ STATE: Telloの情報を取得

TJ RESON: リターンメッセ時を表示

TJ RESOFF: リターンメッセ時を非表示

TJ Q…: Qコマンドを実行

TJ “message”: コマンドを実行

TJ S “message”: コマンドを実行後、リターンメッセージを表示

TJ Qxxx

1.1.0b1～

[機能 (Telloコントロール)]

FPに準じたTelloのQueueコマンドを送信

[書式]

?”TJ Q…”

[例]

?”TJ QF 100”:WATE60

?”TJ QTR 180”:WATE120

?”TJ QRUN”

[解説]

FPに準じたTJ Qコマンドを送信します。

Qコマンド

QRUN, QCLR, GL, QR, QF, QB, QU, QD, QTR, QTL, QU, QD, QTR, QTL, QG, QGM, QC, QCM, QFL L, QFL R, QFL F, QFL B

[関連]

TJ START: Tello操作を開始

TJ SLOSE: Tello操作を終了

TJ STATE: Telloの情報を取得

TJ RESON: リターンメッセ時を表示

TJ RESOFF: リターンメッセ時を非表示

TJ Q…: Qコマンドを実行

TJ “message”: コマンドを実行

TJ S “message”: コマンドを実行後、リターンメッセージを表示

TJ xxxx / TJ S xxxx

1.1.0b1～

[機能 (Telloコントロール)]

Telloのコマンドを送信

[書式]

?”TJ <message>”

?”TJ S <message>”

[例]

?”TJ takeoff”

?”TJ left 50”

?”TJ R 100”

?”TJ TL 180”

?”TJ L2”

?”TJ LD”

[解説]

Telloのコマンドを送信します。FPの短縮コマンドの送信も可能です。

command, stop, emergency, landなどTelloのコマンド

Tello SDK : <https://www.ryzerobotics.com/jp/tello/downloads>

Tello Edu SDK : <https://www.ryzerobotics.com/jp/tello-edu/downloads>

TO, LD, U 100など、FPのコマンド

リファレンスマニュアル : <https://na-s.jp/FruitPunch/>

[関連]

TJ START: Tello操作を開始

TJ SLOSE: Tello操作を終了

TJ STATE: Telloの情報を取得

TJ RESON: リターンメッセ時を表示

TJ RESOFF: リターンメッセ時を非表示

TJ Q…: Qコマンドを実行

TJ “message”: コマンドを実行

TJ S “message”: コマンドを実行後、リターンメッセージを表示